

令和6年度 多良見東・喜々津地区 語らん場

前年度の語らん場の内容を踏まえつつ、我が事として地域のことを考えていくように取り組みました。また、今回は「認知症」に重点を置き、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりについて意見交換を行いました！



認知症になっても
オープンにできる地域
づくりを目指そう!!



↑ 認知症地域支援推進員や市の職員の方から、認知症に関する話や他地域におけるSOS模擬訓練の情報提供、認知症サポーター養成講座等についての紹介をしてもらいました。

10年後の自身や地域のことを考える機会を設けたことで、改めて気づきを得たり、様々な意見も出ました。他グループの意見紹介による情報共有もできました。今後も地域での活動の参考となるような情報発信の場となる語らん場を目指していきます！



語らん場へ
ようこそ！

今年度も地域の皆さまと、令和6年8月27日(火)、たらみ会館にて集いました。



↑ グループワークでは、皆さま気兼ねなく話をされました。

今回は自分事として捉えて考えることができ、「もし自分が認知症になったら」ということを考える良い機会になった。認知症になってからではなく、認知症になる前から地域との関係づくりが大事になってくるのではないかと。認知症に対する理解や認知症について知る機会が必要だという意見も出ており、皆さんの意識の高さを感じました。

作成；諫早市西部地域生活支援コーディネーター 山田 沙希
(諫早市西部地域包括支援センター TEL:0957-43-3330)